

呼吸器内科を新設します

呼吸器内科
江口 典孝

平成 27 年 10 月より、次の疾患を対象とした“呼吸器内科”を新設いたします。

1. 呼吸器感染症 … 肺炎・気管支炎・肺結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症・膿胸など

誤嚥性肺炎

現在、当院では、肺がんの次に入院数の多い疾患です。誤嚥性肺炎は年々増加しています。医師による治療と並行してチーム医療(呼吸器サポートチーム・RST)を介入させて積極的に治療していきます。言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等のセラピストによるリハビリテーション、嚥下造影検査などによる評価を行い、早期の退院を目指します。

2. 腫瘍性疾患 … 肺がん・胸膜中皮腫・縦隔腫瘍・良性肺腫瘍など

肺がん

本邦の死亡原因の中では悪性腫瘍が最も多く、その中でも肺がんの死亡者数は 1998 年より第一位となっています。診断には、喀痰検査、採血、胸部レントゲン、CT 検査、MRI 検査等を行います。その上で必要に応じて、気管支鏡検査や CT ガイド肺生検等を施行致します。当院での気管支鏡検査・CT ガイド肺生検は、患者様に出来るだけ苦痛のない検査を心がけています。

3. 肺気腫などのタバコ関連疾患

毎週木曜日に予約制で禁煙外来を設けています。COPD の早期発見・早期の治療介入を目指しています。また、リハビリテーション科と連携して「呼吸リハビリテーション」を積極的に導入しています。重症症例においては、在宅酸素療法・マスク式人工呼吸法を導入し、外来治療を続けて行きます。

4. 気管支喘息

気管支喘息では、毎日の治療や生活のコントロールが重要であるため、薬剤師による吸入指導などを積極的に行っています。

5. びまん性肺疾患 … 間質性肺炎・肺線維症・過敏性肺炎・じん肺・サルコイドーシスなど

6. 胸膜疾患 … 気胸・胸膜炎など

7. 血痰・喀血

8. 睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome)は、眠っている間に呼吸が止まる病気です。Sleep Apnea Syndrome の頭文字をとって、「SAS(サス)」とも言われます。日中の居眠りが交通事故や労働災害につながりかねないことから注目されていますが、最近では、糖尿病や高血圧、心疾患をはじめとする生活習慣病とも関連があると言われていています。当院では、SAS 簡易検査から、1泊の入院を必要とする睡眠ポリグラフ検査(ポリソムノグラフィ・PSG)、治療(CPA P治療など)を専門的に行っています。



現在、毎週月曜日の総回診以外に、水曜日には気管支鏡検査、金曜日には、呼吸器サポートチーム(RST)によるラウンドを行っています。順次、検査日等を増やす予定です。